

令和4年度

高森町一般会計補正予算（第1号）
概要書

ウィズコロナ下での「通いの場」介護予防イベント

●新型コロナウイルスの感染防止対策を確保した上で、介護予防推進のためのイベントを実施します。

【現状及び課題】

これまで、県の「介護予防拠点整備事業（100%補助）」を活用して整備してきた各地区公民館等は現在、「通いの場」としてだけでなく、有事の際には「一時避難場所」にもなっている。
しかし、コロナ禍における高齢者の外出自粛による閉じこもりの増加や交流機会の減少も顕著であり、更には災害時に避難支援が必要な方の情報を更新・共有する必要がある。

【対策】

今後、「通いの場」をより有効に活用していくためにも、**通いの場の魅力向上を図り、様々な世代が交流する『地域の拠点』として確立させる必要がある。**

- ①「ボッチャ」や「eスポーツ大会」の開催により、通いの場への参加者増加だけでなく、様々な世代の交流に繋げる。
- ②「避難フェス」と銘打って、避難行動要支援者への支援方法を確認する。



【事業財源】

国の「介護保険事業費補助金」を活用予定（補助率：2/3）

⇒町負担分（1/3）については、「新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金」

のうち（国庫補助事業の地方負担分）として80%が措置される。【**町の実質負担：1/15**】

※補助対象外経費にはふるさと納税を活用予定

事業費	補助額	ふるさと応援基金	町負担※
1,178万円	752万円	50万円	376万円

予算書P8

※町負担の376万円のうち、300万円が新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金で措置される。